



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2014年 10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

第18回日本太鼓全国フェスティバル ～岩手県奥州市で開催～

第18回日本太鼓全国フェスティバルを7月6日(日)岩手県奥州市の「奥州市文化会館Zホール」にて、1,000人の観客を前に盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、東北太鼓連合、岩手県支部が主管となり、文化庁のほか、岩手県、奥州市等地元の後援をいただきました。

当日は天候にも恵まれ、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、全国フェスティバルに対する期待が伺えました。公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長、主管の渡部世一東北太鼓連合会長と及川賢一岩手県支部長の挨拶、奥州市の小沢昌記市長のご祝辞と続き幕を開けました。続いて全国トップレベルの10チームが渾身の演奏を披露しました。以下出演団体をご紹介します。



(フィナーレの様子)

1. 岩手県合同チーム(岩手)…岩手県支部加盟団体の会員から選ばれた65名の皆さんが一つとなり、岩手県合同曲「大地の力」を演奏し、その迫力に会場から大きな拍手がおくられました。
2. 秩父屋台囃子若葉会(埼玉)…埼玉県秩父地方の「秩父夜祭り」で演奏されている太鼓です。山車の中に入り、町内を練り歩く際、その状況に応じて曲想が変わる様子を舞台上で表現して頂きました。
3. 富岳太鼓竜神組(静岡)…知的障害を持つ皆さんと施設の指導員による演奏を披露して頂きました。練習を積み重ねた息の合った見事な演奏に、会場から感嘆の声と大きな拍手があがりました。
4. 尾張新次郎太鼓保存会(愛知)…バチを手で回しながら演奏する「曲太鼓」と、竹のバチで甲高い音を出す「神楽屋形太鼓」が神楽笛に合わせて演奏され、見事な佇さばきに誰もが見入っていました。
5. 太鼓集団天邪鬼(東京)…東京を拠点に活動しているチームで、海外でも人気の高い演奏は、舞台上にひきつけられるようだったとの声が聞こえるほどの熱演振りでした。

6. 越中いさみ太鼓保存会(富山)…北陸地方に伝わる三ツ打ち太鼓を披露しました。笛と地方(じかた)に合わせて打ち込む打芸は初めて見る方が多く、そのリズムに魅了されていました。
7. 御諏訪太鼓保存会(長野)…今日の黄金時代を迎えた日本太鼓の礎となったチームの一つです。今回は、諏訪地方に古くから伝わる「諏訪雷」を披露して下さいました。
8. 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)…本年3月に福島県で開催した第16回ジュニアコンクールの優勝チームです。子供たちの迫力ある演奏に会場から大きな声援が飛んでいました。
9. 豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)…2007年に由布市無形文化財に指定された豊の国ゆふいん源流太鼓は、速さの極限を追求した締太鼓と迫力ある大太鼓を披露されました。
10. 気仙町けんか七夕保存会(岩手)…岩手県陸前高田市に伝わるけんか七夕太鼓は、岩手県無形文化財に指定されている山車七夕祭りを舞台上で再現して観客の皆さんに披露していただきました。



(秩父屋台囃子若葉会・埼玉)



(尾張新次郎太鼓保存会・愛知)



(御諏訪太鼓保存会・長野)



(富岳太鼓竜神組・静岡)



(太鼓集団天邪鬼・東京)



(越中いさみ太鼓保存会・富山)



(岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組・福島)



(豊の国ゆふいん源流太鼓・大分)



(気仙町けんか七夕保存会・岩手)

*岩手県支部の及川支部長より、フェスティバルについての感想をご寄稿頂きました。

第18回日本太鼓全国フェスティバルを終えて

岩手県支部長 及川 賢一

岩手県で初の開催となる「第18回日本太鼓全国フェスティバル」が、大盛況のうちに終了できたことをご報告申し上げます、沢山の皆様方のご支援とご協力に心から感謝と御礼を申し上げますところであります。

さて、思い返せば2年前岩手県での日本太鼓全国講習会の終了時に、財団より「次は全国フェスティバル」という話を頂き、支部役員や地元太鼓連合の皆様と協議を重ねた結果、東日本大震災で沈みがちな岩手の皆さんの気持ちを全国フェスティバルで盛り上げよう、是非開催させて頂こうという意見にまとまり、ありがたい事に「会場は支部長の地元奥州市のZホールでやるべ!」という意見を受け調整に走り始めました。

初めての全国規模のイベントに戸惑っておりましたが、地元太鼓団体連合や岩手支部団体の皆様からは全力のバックアップの確約を頂き、実行委員会を立ち上げる事ができました。さらに、岩手県支部にはまだ無い合同統一曲を創作する事業も同時進行できる運びとなりました。全てのことが進む中、東北太鼓連合の皆様からも「強力な協力体制」で駆け付けて下さるとのことで大変心強くてありがたく大船に乗った気持ちで当日を迎えることができました。

会場にはたくさんのお客様が入場して下さいました。遠くは北海道からいらして下さいました方々もあり、感謝、感謝。岩手県合同チームの演奏から始まり、日本を代表する選抜チームの演奏、ジュニアコンクール東北初優勝チームの福島県うねめ太鼓小若組の演奏、出演者全員によるフィナーレまで、観客席からは惜しめない拍手がおくられていました。また、送り太鼓が響く中、「素晴らしかった!」「感動して涙がでた!」「元気をもらった!」とお客様から沢山の称賛のお言葉と握手を頂きました。地元太鼓連合の恩人で大先輩の長老からは、帰りぎわ杖をつきながら寄ってきて私の耳もとで、「ありがとう、この地で全国フェスを開催するのが夢だった。大成功おめでとう!」と言われた時はこらえていたものが両目から溢れました。準備は大変だったけれど岩手で開催できて本当に良かったと心から思いました。

今回のイベントで岩手県支部会員の皆の気持ちがさらに一丸となる事ができた事を嬉しく思い、やはり太鼓の絆は太く強く温かいこと等、さらに心に深く刻む事ができました。このような素晴らしい機会を与えて下さいました日本太鼓財団の皆様方にあらためて感謝申し上げます。

最後になりますが、演奏して下さいました各団体の打ち手の方々、ご来場下さいましたお客様、全ての皆様方に重ねて厚く感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



(岩手県合同チーム)

第16回日本太鼓全国障害者大会 ～大阪府大東市で開催～

10月5日(日)第16回日本太鼓全国障害者大会を、大阪府大東市の「大東市立総合文化センターサートゥーホール」にて開催いたしました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、社会福祉法人富岳会共催、日本太鼓財団大阪府支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、大阪府等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、40年近く補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。この大会は1998年富岳会が主催された「障害者太鼓演奏会」が静岡県御殿場市で開催され、翌年「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で全国大会として実施しております。

第16回目を迎える今回は、日本太鼓に積極的に取り組んでいる17都府県の34団体(出演者数430名)が一堂に会し、日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

今回は、「山城ノ國 和太鼓 鼓粋『絆』」(大阪)、「NPO法人太鼓の楽校 太鼓一家“虹”」(徳島)、「和太鼓 龍船 昂」(京都)、「ライフサポートあんしん 和太鼓教室 ひびき」(奈良)の4チームが初めて参加しました。

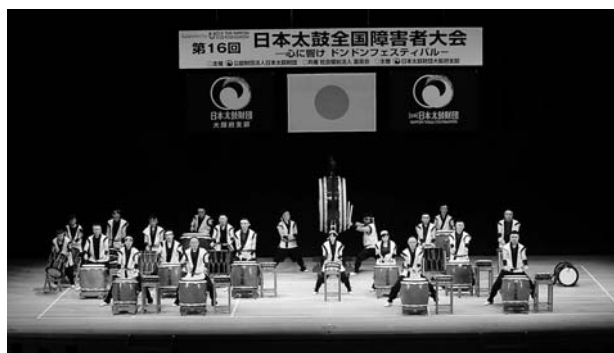
また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは第1回大会以来、16回連続で出場をされています。各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて体験発表をし、自身の成長や、チーム内の変化などを一生懸命に語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、また全員が心から太鼓を楽しんで演奏をしている様子が印象的でした。

1,100名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手をおくっていました。

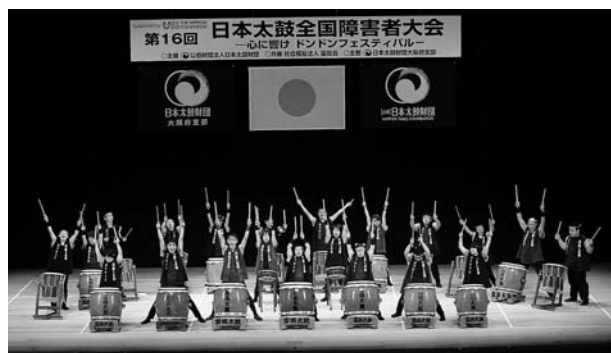
来年の17回大会は2015年10月4日(日)に石川県小松市の「石川県こまつ芸術劇場うらら」で開催されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<出演団体一覧> (出演順34団体) ☆は初出場

- 1 静岡 富岳太鼓 竜神組
- 2 新潟 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会
- 3 福島 やまびこ太鼓
- 4 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 5 大分 糸口太鼓
- 6 静岡 伊豆医療福祉センター どんつく
- 7 富山 鼓友 夢光組
- 8 静岡 風のひびき
- 9 岐阜 恵那のまつり太鼓
- 10 広島 和太鼓 天手鼓舞
- 11 静岡 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
- 12 福島 あだたら和太鼓
- 13 兵庫 神戸ろう太鼓集団 鼓神
- 14 山口 同朋福祉会 あそかの園 同朋太鼓
- 15 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 16 大阪 清光会 和太鼓 韻
- 17 静岡 なごみ太鼓喜楽
- 18 石川 社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓
- 19 愛媛 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」
- 20 静岡 静岡ハンディキャップ太鼓の会
- ☆21 大阪 山城ノ國 和太鼓 鼓粋「絆」
- 22 東京 大江戸助六流東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
- ☆23 徳島 NPO法人太鼓の楽校 太鼓一家“虹”
- ☆24 京都 和太鼓 龍船 昂
- 25 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- 26 石川 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓
- 27 徳島 徳島県立国府支援学校 和太鼓部
- ☆28 奈良 ライフサポートあんしん 和太鼓教室 ひびき
- 29 京都 与謝の海ぶちあわせ太鼓
- 30 大阪 すまいる和太鼓クラブ
- 31 兵庫 播州ろう龍姫太鼓集団 鼓鼓呂
- 32 京都 元太鼓
- 33 兵庫 神戸なかよし太鼓
- 34 大阪 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」



(16回連続出場の恵那のまつり太鼓・岐阜)



(16回連続出場の
金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム・静岡)



(初出場の山城ノ國 和太鼓 鼓粋「絆」・大阪)



(初出場のNPO法人太鼓の楽校 太鼓一家“虹”・徳島)



(初出場の和太鼓 龍船 昂・京都)



(初出場のライフサポートあんしん 和太鼓教室 ひびき・奈良)

第16回日本太鼓全国障害者大会を終えて

大阪府支部長 東野恵之

大阪府で初めての開催となる「第16回日本太鼓全国障害者大会」が、日本太鼓財団、公認指導員の皆様、そしてスタッフとして当日後片付けまで活躍していただいた大阪府支部、多くの皆様のご支援とご協力を賜り無事に終了できた事を心より感謝申し上げます。

さて、大阪の地で全国障害者大会の開催にあたり、初代大阪府支部長でありました岡田博勝先生が誘致、そして会場の選定とご尽力をいただきました。その岡田先生は障害者大会が大阪での開催決定後の2012年12月、自宅で倒れられ大会開催も危ぶまれる中、山城ノ國和太鼓鼓粋の一員でありました私が大阪府支部長に就任しました。太鼓の世界ではまだまだ若輩であります。正直な所、「大会が無事開催できるのか」と不安の日々でしたが、準備の段階から丁寧にご指導いただきました財団事務局の皆様へ感謝いたします。

当日は、台風の影響が心配されたものの大会開催中は小雨でした。ほぼ満席近い状況の中、去年の35団体に次ぐ、初出場4団体を含む34団体(17都府県)、430名の出演者が力強く素晴らしい演奏を披露されました。日頃の練習成果を十二分に発揮しベストを尽くす姿には太鼓の芸術と技術の深さを感じました。夢や感動を与えていただきましてありがとうございました。

2008年大阪府支部設立後、初の主管行事であります日本太鼓全国障害者大会を通して大阪府支部の各団体が一つになり、大きなイベントを実施できた事は大きな財産となりました。今後は更なるステップアップを目指し主管団体として行事をおこなっていききたいと思います。

最後になりますが、素晴らしい機会を与えていただきました日本太鼓財団、そして近隣支部スタッフ、地元関係各位の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



(挨拶をする東野支部長)

第11回ブラジル太鼓選手権大会が開催

7月6日(日)ブラジル太鼓協会主催の第11回ブラジル太鼓選手権大会が、満員となる1,500名の観客を集めて開催されました。

ジュニア部門には19チーム、リーブレ(フリー)部門には11チーム、マスター部門(40歳以上)2チーム、大太鼓部門13名、特別演奏(前年度優勝チーム等)7チーム、合計39チームが参加し盛大に行われました。

ジュニア部門では光太鼓(ブラジリア)が優勝し、3月に開催するジュニアコンクールに出場することが決定しました。ジュニア部門上位の結果は次の通りです。

ジュニア部門 優勝 光太鼓
準優勝 源流太鼓
第3位 はつみ太鼓
第4位 光嵐太鼓
第5位 若葉太鼓



(光太鼓)

審査委員

(敬称略)

菟輪敏泰(審査委員長・財団1級公認指導員)
山本雄二、大石誠、国吉フェルナンド、
上村光輝、岡崎ヴァルテル、高野信太郎

第5回台湾ジュニアコンクール・第7回台湾太鼓フェスティバルが開催

10月11日(土)台湾で第5回台湾ジュニアコンクールと第7回台湾太鼓フェスティバルが、台中市に近い彰化縣の「員林演藝庁」にて開催され、塩見理事長と、審査委員として当財団より長谷川副会長が出席しました。完全入替制で行われ、両公演とも満員となり、合わせて2,000名を越える観客の前で開催されました。

台湾ジュニアコンクールには特別演奏2団体を含む24団体279名が参加しました。今大会では、今年1月に行われた第8回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールにおいて優勝した宮崎県の「太鼓研修センター『響』」が特別出演し、熱のこもった演奏で観客を魅了していました。

そして、台湾太鼓ジュニアコンクールでは「葫蘆墩Smile太鼓團」(台中市)が優勝し、来年3月に長野市で開催する第17回日本太鼓ジュニアコンクールに参加することとなりました。「葫蘆墩Smile太鼓團」は台湾太鼓ジュニアコンクールで2012年に続いて2度目の優勝となりました。

審査結果は次の通りです。

審査結果 優勝: 葫蘆墩Smile太鼓團
第2位: 迦摩瓔太鼓團
第3位: 泰山太鼓團
特別賞 日本太鼓財団賞: 東山高中太鼓隊
日本交流協会賞: ひろか源流太鼓團
浅野太鼓賞: 柏齡太鼓團
台湾演奏家協会賞: 勁太鼓



(表彰式の様子)

第7回となる台湾太鼓フェスティバルは、台湾各地から18団体244名が参加しました。公演の最後は、オーディションで選ばれた100名による合同演奏「台湾慕情」(長谷川義氏作曲)で幕を閉じました。100名全員の名の合った演奏に、観客席から大きな拍手が起こりました。

3級公認指導員が誕生



伏見 文恵氏
(野州轟一番太鼓)

公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て、技術委員会において検討した結果、伏見文恵氏(栃木県・野州轟一番太鼓)が3級公認指導員に認定されました。おめでとうございます。これで公認指導員は1級44名、2級37名、3級125名、計206名となりました。(2014年10月末日現在)

当財団では今後も指導者育成を図るための「公認指導員(1級~3級)」及び太鼓の演奏技術の向上を目的とした「技術認定員(1級~5級)」の育成に努めていく所存です。講習会への皆様のご参加をお待ちしております。

＜第51回日本太鼓全国講習会(福島)＞

9月13・14日(土日)東北太鼓連合、福島県支部主管による全国講習会を福島県郡山市の「片平ふれあいセンター」にて実施し、全国18都道府県から123名が受講しました。開会式では財団塩見理事長と東北太鼓連合会長・福島県支部長の渡部世一氏から励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
3級基本講座 鈴木 孝喜
4級基本講座 渡辺徳太郎
5級基本講座 渡辺 洋一

○専門講座 御諏訪太鼓講座 松枝 明美
三ツ打太鼓講座 河合 睦夫
縮太鼓講座 長谷川 義

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 20名受験 20名合格(4名認定)
2級検定 18名受験 18名合格(8名認定)
3級検定 14名受験 14名合格
4級検定 9名受験 9名合格
5級検定 41名受験 41名合格



(御諏訪太鼓講座の様子)

＜第61回日本太鼓支部講習会(北海道道西)＞

9月27・28日(土日)北海道道西支部主催による支部講習会が北海道岩見沢市の「幌向総合コミュニティセンター ほっとかん」で行われました。今回は地元北海道をはじめ、36名が参加しました。開会式では田中浩照支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
3級基本講座 橋本 光司
4級基本講座 渡辺 洋一

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 15名受験 15名合格
4級検定 21名受験 21名合格



(3級基本講座の様子)

＜第8回台湾太鼓講習会＞

7月12・13日(土日)台湾太鼓協会主催の第8回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から139名が受講しました。

開会式では、王理事長の挨拶に続き、総合指導の古屋技術委員長が講習会の内容を説明、日本からの指導講師を紹介して講習会がスタートしました。

3級基本講座 松枝 明美
4級基本講座 渡辺徳太郎
5級基本講座 古屋 邦夫

今回は自費参加で高島奈々(岐阜)、高島笑美(岐阜)、野方嘉孝(佐賀)の3氏が助手として活躍されました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 42名受験 42名合格
4級検定 36名受験 31名合格
5級検定 61名受験 61名合格



(5級基本講座の様子)

第26回水心会夏祭り

9月3日(水)日本財団の関連団体で構成されている水心会が親睦を目的に開催している恒例の夏祭りが行われました。昨年は生憎の雨で中止となりましたが、今年は秋晴れの中、東京日本橋の三越本店屋上ビアガーデンで行われました。今回も当財団に要請があり、太鼓2チームが出演しました。東京の「邦楽アカデミー和太鼓大元組」と共に、日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」が会場内ステージで演奏し、夏祭りを大いに盛り上げました。日ごろの練習の成果に参加者から盛大な拍手がおくられ、仕事を離れた仲間たちの勇姿に会場は大喜びでした。都会のビルの屋上で、秋を感じるさわやかな風が吹き抜ける中、演奏者の方々も気持ちよく太鼓をたたいていました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組)



(和太鼓水心会)

東京・虎ノ門一丁目琴平町の夏祭り

8月8日(金)の夕刻、当財団ビル最寄りの町内会である「虎ノ門一丁目琴平町会」の夏祭りが開催され、「邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア」と、日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」が演奏を披露しました。

オフィスビル街での夏祭りの太鼓演奏に、家路に向かう人々も足を止め、夏の暑さを一時忘れ楽しんでおられました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア)

*** 日本財団が助成している「日系スカラーシップ・夢の実現プロジェクト」により、日本で太鼓を学ぶため留学中の栄口カロリーナさんにご寄稿いただきました。今後は太鼓と日本での日々の生活について紹介して頂く予定です。**

私は栄口カロリーナと言います。アルゼンチンから来ました。5年前、ブエノスアイレス太鼓道場で和太鼓を始めて、先生として太鼓道場や様々な日系人協会でご指導してきました。

今年、海外日系人協会より奨学金をいただけることになり、日本で太鼓について、そして作り方を勉強するため4月から長野県岡谷市に住んでいます。毎日、日本語学校の後に諏訪響太鼓店で太鼓の作り方を学び、火曜と水曜には御諏訪太鼓道場で太鼓の練習、隔週で障害者チームの練習も見に行っています。時々、御諏訪太鼓の方々とは演奏をさせてもらっていて、とても良い勉強になっています。

日本太鼓財団と御諏訪太鼓の皆さんのおかげで岡谷市だけではなく、各地のチームを見る機会も得て、様々な太鼓のスタイルの勉強もできています。

本当に日本の太鼓は素晴らしいです。もっともっと吸収したいという気持ちが日々湧き上がってきます。

私はアルゼンチンに和太鼓の技を広めたいと思っています。打ち方のテクニックだけではなく、他にも大切なことはたくさんあります。例えば音が合うように仲間に配慮すること、自分の規律を保つこと、見た目のよさだけでなく、心を伝えられるように太鼓を打つこと。そのためにも技術認定検定1級を目指して今、頑張っています。

昨年、アルゼンチン太鼓協会が設立され、来年3月に長野県で開催される「日本太鼓ジュニアコンクール」にアルゼンチンのジュニアチームが特別出演として参加できることになり、うれしい気持ちでいっぱいです。アルゼンチンで和太鼓をもっと広められるように、日本で精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします！



事務局だより

第52回日本太鼓全国講習会(鹿児島県鹿児島市)

期 日：2015年2月21日・22日(土日)

会 場：鹿児島県立青少年研修センター 鹿児島県鹿児島市宮之浦町4226-1 Tel:099-294-2111

主 催：(公財)日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座

安江 信寿

4級基本講座

若山 雷門

5級基本講座(初心者講座)

田中 俊己

専門講座

御諏訪太鼓講座(複式単打法)

松枝 明美(長野県)

八丈太鼓講座(単式複打法)

菊池 修(東京都)

源流太鼓講座(複式複打法)

長谷川 義(大分県)

*講習会の詳細は、次号(1月号)およびホームページにて随時掲載いたします。

第11回日本太鼓シニアコンクール

文部科学大臣賞を目指して各地(17都道府県)から30組が出場します。

日 時：2014年11月23日(日) 開演14:00 入場無料

*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会 場：津幡町文化会館シグナス(石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地)

主 催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、(一財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会

出演30団体・個人は以下の通りです。

橋本光司(橋本流地獄太鼓和太鼓會・北海道)、大森太鼓愛好会(秋田)、酒田北前太鼓振興会(山形)、加賀太鼓保存会、環海、東出南弥子(共栄太鼓風雅)、世川久美子(加賀太鼓保存会)、和田昭男(九谷太鼓保存会)、松本敏春(加賀の太鼓「無限」)、坂本千鶴子(加賀太鼓守護神)、久保史朗(輪島キリコ太鼓)、北川清健(加賀太鼓守護神)、山本和人(加賀太鼓保存会・以上石川)、西川清昭(氷見有磯太鼓保存会・富山)、山田誠一(坂井無形民俗文化財火の太鼓保存会・福井)、飛龍太鼓、高野右吉(高野右吉と秩父社中・以上埼玉)、和太鼓大元組いぶし、小畑潔(荏原流れ太鼓ひびき会・以上東京)、秦野観光和太鼓(神奈川)、藤枝太鼓BA-BA(静岡)、古屋邦夫(御諏訪太鼓保存会・長野)、松岡秀春(尾張新次郎太鼓保存会・愛知)、青木正行(ぎふ愛鼓会・岐阜)、岡田博勝(山城ノ國和太鼓鼓粋・大阪)、華の宴(三重)、野本敏章(正八幡宮飛龍八幡太鼓奉友会)、黒土勇(久山樺太鼓響生会・以上福岡)、古賀富美子(風天太鼓保存会)、野方嘉孝(大和太鼓保存会・以上佐賀)

ジュニアコンクール予選・推薦の結果報告は11月末締切!!

2015年3月22日(日)長野県長野市の「ホクト文化ホール」で第17回日本太鼓ジュニアコンクールが開催されます。海外からはブラジルの「光太鼓」、台湾より「葫蘆墩 Smile 太鼓團」の参加が決定しています。

国内でも各地において予選が行われておりますが、終了した支部は**11月末日**までに予選実施報告書・出演団体推薦書・出演申込書を提出して下さい。課題曲は全チームが確定後、年内に一齐送付致します。

なお、予選のない地域で出場を希望される団体は、財団事務局(Tel:03-6229-5577)までご連絡下さい。

助成金交付事業の2015年度分を募集

太鼓事業の開催等に対して当財団が行っている助成金交付事業の2015年度については、次の通り予定しております。申請書類は当財団ホームページからダウンロードすることも可能です。

対象期間：2015年4月より2016年3月までの間に実施する事業

申請締切：**12月25日(木)**

助成金額：1事業あたり20万円

*詳細は、財団事務局(黒木)までお問い合わせ下さい。

(公財)日本太鼓財団 〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

ホームページ <http://www.nippon-taiko.or.jp> メール info@nippon-taiko.or.jp